

委員会報告			
<p>2017年度事務局は、能代青年会議所メンバー全員が覚悟と気概を持って活動し、LOM全体のモチベーションを高く保つことを目標として、全力で運営に取り組んでまいりました。</p> <p>まずは、委員会、会議体メンバーが迅速且つ正確な資料提出を実行してくれたおかげもあり、適切な予算作成と財務管理をおこない、能代青年会議所が地域発展に向け恒久的に活動するための基盤をつくることができました。また、7月のブロック大会へ向け褒章エントリーをおこない、昨年度の大規模事業であった「ギネス記録チャレンジ」が見事大塚賞受賞にいたりました。8月は県中央部、南部で起こった未曾有の大雨被害に関し、多くの県内LOMメンバーも被害にあわれました。能代青年会議所としても仲間が苦しんでいるのに対し黙ってられず、少数ながらもメンバーとともに大仙市で二度ボランティアに参加してまいりました。さらに、奥州の地でおこなわれた9月の東北青年フォーラムにおいては、2019年度東北青年フォーラムの主管決定をいただき、LOMメンバー一同が引き締まった月となりました。10月には、今後の政治参加運動に一石を投じる秋田県初の試みとなった、衆議院議員総選挙に伴うネット討論会の開催を試み、多くの反響をいただくことができました。また、本年度は2005年度以来の秋田ブロック協議会会長を輩出したことで、会員一人ひとりがブロックチャーターLOMであるという自覚を高く持ち、ブロック事業や地区事業へこれまで以上に積極的に参加してまいりました。佐藤理事長が掲げたスローガン「自律」のもと、秋田ブロック協議会内でも高い志を維持し共通の意思をもって運動展開をする事ができました。これらにより、ブロックとLOMとの相互の連携を強化でき、メンバー一人ひとりのブロックに対する理解と、各自の向上心を得ることができたと確信しております。さらに、今年度はこれまでにないほどの会員拡大運動に力を入れ、拡大戦略推進会議を先頭に、各委員会と連携をとった拡大運動を展開してきたことで、能代青年会議所の灯を絶やさず、我々の活動が永くこの地域に根差す推進力を獲得することができました。</p> <p>能代青年会議所が築き上げ、そして継承した「想いの連鎖」を断ち切ることなく、個々が己を律し、覚悟をもってLOM運営に邁進してきました。至らぬ点も多々あったかとは思いますが、2017年度を駆け抜けてこれたのは、メンバーやシニアクラブ先輩諸兄の皆様、また、それぞれの家庭や仕事、能代青年会議所に関わる全ての方々のお支えのお陰です。スタッフ一同心より感謝を申し上げ年間事業報告書とさせていただきます。一年間ありがとうございました。</p>			
事業報告			
(日付)	(内容)	(会場)	(公益性)
・7月1日	褒章へのエントリー	横手市	
・10月15日	衆議院議員総選挙に伴うネット討論会	大館市	○
・12月9日	12月定例会 「卒業式」	ブラザ都	
・通年	事務局運営並びに財務管理、庶務全般		
・通年	三役理事会議の設営と運営及び議事録作成		
・通年	本会、地区、ブロック、各LOM事業への参画と対応		
・通年	ブロック、地区出向者に対する支援体制の強化		
・通年	庶務事項		
・通年	本会、地区、ブロック、各LOM事業への参画と対応		
・通年	災害ネットワークへの対応		
・通年	想いを引き継いだ会員拡大運動		
決 算			
《項目》		《金額》	
・衆議院総選挙に伴うネット討論会		5,787円	
・12月定例会 「卒業式」		32,832円	
合 計		38,619円	